

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 入江 田村

2. 山域/ルート スイス メンヒ南東稜ルート

3. 交通手段 飛行機、電車

4. 行動記録

9月15日(木) グリンデルワルト駅 7:17 = (電車) = 8:35 ユングフラウヨッホ駅 9:00 - 10:00 南東陵取付き 10:05 - 12:30 4074m地点 - 14:50 南東陵取付き - 15:20 ユングフラウヨッホ駅

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

前日降雪があり、4074m地点から山頂(4107m)までのナイフリッジに新たな雪庇も発生しているため、ガイド1人で2人の確保は無理であると判断され、4074m地点で下山。

またメンヒ下山後山小屋に泊まり、翌日ユングフラウを目指す予定であったが、悪天候との予報により中止となる。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか? 特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか? 特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

日本で事前に低酸素ルームで1度だけトレーニングを行い、高山病予防薬も使用するが、1時間強で1000mから登山電車で一気に3471mのユングフラウヨッホ駅へ向かうため、高度順応が難しく、すぐに息が切れてしまい体も重く指先がしびれてくるなど、思うように体が動かずとてもしんどかった。

想像していた以上に岩場が長く続き、ところどころ3級程度の岩場もでてくるため、岩稜帯でのアイゼン歩行をもっと練習する必要があると思った。唯一経験がある雪と岩稜帯の西穂高岳山頂への一般ルートより難易度が高いと感じた。



今から登るメンヒ





4074m 地点、バックに見えている山頂まで標高差 33m だったけど、ここまでこれで幸せ



山頂からの眺め。お天気に恵まれ、遠くマッターホルンまで望めました

報告者氏名 入江 2017年 9月 26日